

# 十勝毎日新聞

2012年(平成24年)11月2日(金曜日)

## 十勝産豆菓子2種 5日発売

通信組合  
商店街

### 4日ホコテン で先行販売

帯広市内の通信通り商店街振興組合(長谷渉理事長)が5日、十勝産の豆を使ったオリジナル菓子を同商店街の「クッキーハウスぶどうの木」(東3南6)で発売する。発売開始前日の4日には、市内中心部で開かれる帯広まちなか歩行者天国(オビヒロホコテン)で販売する。

発売するのは焼き菓子「き



4日のホコテンから発売される「きなボロー」(手前)と「あずきパウンドケーキ」

なボロー」(120円)と「あずきパウンドケーキ」(180円)の2種。いずれも十勝産の食材にこだわり、きなボローには黒豆のきなこ、パウンドケーキには小豆を使った。菓子の開発は同組合が全国商店街支援センター(東京)や帯広商工会議所の補助を受けて「ぶどうの木」が担当。昨年12月と今年2月の市民向け試食会で4種類をお披露目し、そのうち2種類が今回発売されることになった。長谷理事長は「独自のスイーツとして商店街の他の店でも販売していきたい」と話している。4日のホコテンでは2種類を合わせて300円で販売する。(深津慶太)